

鍵盤ハーモニカが 音楽教育に適している8つの理由

1 鍵盤楽器であり吹奏楽器であるからこそ学び

鍵盤楽器に必要な運指や、吹奏楽器に必要なブレスコントロールを1台で学習でき、音楽表現へのより深い理解が得られます。またリコーダー学習への移行もスムーズです。

3 指導しやすく理解しやすい

鍵盤ハーモニカは、音の高低や、どの音を演奏しているのかが指導者、児童の双方にとって視覚的に分かりやすいため、音階学習に適しています。また、息の強さや出し方で音量や音の長さが変わるといった「行動」と「結果」が結び付きやすい楽器です。

文部科学省・小学校学習指導要領解説音楽編 第3章 第1節より引用
演奏の仕方を工夫することによって、楽器の音色が変わることに、演奏を通して気付くようにすることが重要である。例えば、息の使い方を覚えて音色の違いを比べるなどの過程において、「鍵盤ハーモニカは、息を速く吹き込んだときとゆっくり吹き込んだときでは、音の感じが違う。ゆっくり吹き込むと優しい感じの音になる」などの気付きを促すことが考えられる。

5 小型で軽量、多様な演奏形態に対応

メロディオンは幅約43cm、重さ600~800グラムと小型で軽量。また唄口(マウスピース)も卓奏・立奏の2種類を付属しているの、発表会では座って、マーチングでは行進しながら演奏、といった様々な演奏形態に対応します。

7 電源が不要で丈夫

電源が不要ですので、いつでもどこでも演奏が可能です。また精密な電子部品を使用している電子楽器と比較し、衝撃やホコリによる影響を受けづらく丈夫です。

2 アコースティック楽器ならではの表現力

電子楽器は音色や音量が安定していますが、一方で音や演奏が画一的になりやすい面があります。鍵盤ハーモニカは、児童一人一人の個性がそのまま音に表れる楽器です。

4 「息」による自由度の高い音楽表現が可能

歌と同様に、音の強弱、長短、抑揚を、息によって自在にコントロールできるため、学習指導要領にある「思いや意図を持った」表現がしやすく、音楽づくりや合奏の授業においても活用しやすい楽器です。

文部科学省・小学校学習指導要領解説音楽編 第2章 第1節より引用
音楽表現を工夫するとは、歌唱や器楽の学習においては、曲の特徴にふさわしい音楽表現を試しながら考えたり、音楽づくりの学習においては、実際に音を出しながら音楽の全体のまとまりなどを考えたりして、どのように表現するかについて思いや意図をもつことである。

6 個人持ち楽器であること

「新しい生活様式」を学校生活の中に取り入れていく中で、今まで鍵盤ハーモニカを備品楽器としていた学校が、個人持ち楽器に切り替える動きも出てきました。また自分の持ち物を大切に扱うことや清潔に保つという情操面や衛生意識の教育にも繋がります。

8 鍵盤ハーモニカで健やかな心と体を

息を吹き込みながら鍵盤を演奏する、といった2つの行動を同時に行うことで脳が活性化することや、息を深く吸って吐くことでストレスを軽減させる脳内ホルモンの活性化が近年の研究で分かってきました。



鍵盤ハーモニカは 音楽表現に優れた 安全な楽器です

新型コロナウイルスの感染拡大リスクを低減する「新しい生活様式」に対応した学校生活の中で、鍵盤ハーモニカの演奏が感染拡大につながるのでは、とご心配される先生方もいらっしゃるかもしれません。弊社では、鍵盤ハーモニカの安全性を確認するため、演奏時の口元および本体からの飛沫可視化実験を行いました。

本紙 概要

鍵盤ハーモニカ演奏時の飛沫可視化実験の結果
新しい生活様式に役立つ 演奏上のご注意・お手入れ方法
鍵盤ハーモニカが音楽教育に適している8つの理由

鍵盤ハーモニカ演奏時の飛沫可視化実験の結果

検証方法

クリーンルームにて数マイクロン(1000分の1ミリメートル)の微粒子を可視化するシステムを使用し、鍵盤ハーモニカ演奏時の口元および本体からの飛沫の量や飛ぶ速さなどを観測しました。

使用楽器

メロディオン M-32C



検証結果

「飛沫はほぼ拡散されない」ことが確認されました。
可視化実験の動画はこちらからご覧いただけます。

<https://www.suzuki-music.co.jp/information/35211/>



楽しく吹こう♪

いつもいっしょ。 ヤマハのピアニカ

ヤマハピアニカは、音楽を表現することの楽しさや、奏でる喜びを感じさせてくれる楽器です。



ひとさわ澄んだ音色と美しい集合音で、音量も豊かです。音域も広く低～高学年まで、より多様に活用できます。

P-32E/ P-32EP

メーカー希望小売価格
¥6,600(税抜)

アルト 32鍵

- 32鍵・f~c[♯]
- カラー・P-32E=ブルー、P-32EP=ピンク
- 寸法(長さ)×(中)×(高さ)mm
本体=425×96×49 ハードケース=456×173×58
- ※測定方法は、現行品と同一の最大部分の寸法を表記しております。
- 本体重量=600g
- ※P-32EJ/P-32EPJは、P-32E/P-32EPを店頭陳列用ビニール袋に入れた商品です。

中空二重ブローケース、吹き口、演奏用パイプ付

ポイント1

スムーズなタッチ感

鍵盤の長さや重さが異なる白鍵と黒鍵には、それぞれに専用のバネを使用しています。プレ防止ガイドも付いた設計で、自然でスムーズなタッチ感を実現しています。

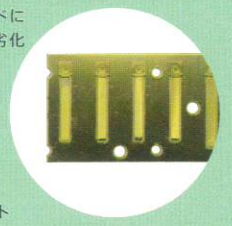


白鍵用バネ 黒鍵用バネ

ポイント2

さびにくいリード

特殊防錆塗料をリードに施すことで、金属の劣化を防ぎ、澄んだ音色と正確で安定したピッチを保ちます。



特殊防錆塗装を施したリードプレート

ポイント3

楽器を守るケース

楽器本体と同色のプラスチック製ハードケースは、中空二重ブロー成型を採用し、耐久性に優れた楽器をしっかりと守ります。また、ケースを開いている時は、楽譜を置くことができます。

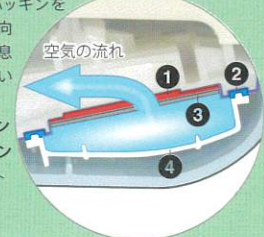


P-32Eケース

ポイント4

息もれを防ぐ構造

薄紙製の「プレートバックキン」と継ぎ目のないスポンジゴム製の「フレームバックキン」を採用。息もれの原因となりうるパーツの継ぎ目に最適な材質・形状のバックキンを配置し、気密性を向上させることで息もれを防止しています。



- 1 プレートバックキン
- 2 フレームバックキン
- 3 リードプレート
- 4 空気室カバー

新 こだわりポイント 便利なパイプクリップ

新しい演奏用パイプの差し込み口にはパイプをとめておけるパイプクリップがついています。立奏する時や卓奏中の待機時などにとっても便利です。

(P-32E/P-32EPのみ) ※特許出願中



P-32EP(待機時)

P-32E(立奏時)

新 こだわりポイント 新しいケースデザイン

横面にシールスペースを追加、収納時に自分の楽器を見つけやすくなりました。また、持ち手にこだわり、子どもの小さな手でもしっかりと持てるように改良しました。(P-32E/P-32EPのみ)



横名前シールスペース (裏面シールスペースは全品番共通) (左)P-32E用/(右)P-32E用ケース

別売付属品



演奏用パイプ
PTP-32E
¥500(税抜)
(P-32E/P-32EP用)



吹き口
PMP-32C
¥300(税抜)
(全機種対応)

※この欄に記載の価格はスペア用単体の価格です。

株式会社 オクターヴ
横須賀市大滝町2-18
TEL046-826-3838

株式会社ヤマハミュージックジャパン

お客様コミュニケーションセンター
管弦打楽器ご相談窓口
ナビダイヤル(全国共通番号)TEL0570-013-808
※固定電話は、全国市内通話料金でご利用いただけます。
通話料金は音声案内で確認できます。
上記番号でつながらない場合は053-411-4744へおかけください。
受付時間：月～金 10:00～17:00
(土曜・日曜・祝日・センター指定休日を除く)

鍵盤・管弦打楽器部 教育・アクセサリマーケティング課
〒108-8568 東京都港区高輪2-17-11
TEL.03-5488-1686

●ピアニカはヤマハ株式会社の登録商標です。
●規格及び仕様は、改良の際予告なく変更する場合があります。